



シルバーとなみ

第26号

平成23年4月10日発行  
(題字)雨池 弘之

# ふれあい



撮影 加藤 福蔵 (出町地区)

平成二十二年度  
第一回通常総会

を開催

3/28(月)



あいさつを述べる柳原理事長

十三年度事業計画案、収支予算案、役員の承認等について五議案をいずれも原案通り承認しました。

砺波市シルバー人材センター互助会総会も同時開催されました。

今年度の主な事業としては

終了後には記念講演

総会終了後には、記念講演が開催され、井波別院瑞泉寺副輪番藤田誓壽氏に講師としてお越しいただき「今をどう生きる」をテーマにお話をいただきました。

改革が加速される中で、シルバー事業を取り巻く環境は大変厳しい状況であります。このような状況の中、事業の執行体制を再点検し、財政基盤の安定強化を図り、シルバー人材センターの基本理念である自立・自立・共働・共助のもと会員各位のご理解ご協力を得て、地域社会に愛され、親しまれ貢献できるシルバー人材センターを目指していきます。』と挨拶されました。

この後、上田砺波市長、井上砺波市議会議長、庄司富山県シルバーカー課長が祝辞を述べられました。

引き続き坂下正雄さん(鷹栖地区)を議長に選任し議事に入り、平成二十二年度收支補正予算、平成二



三月末現在の会員数  
◆男性…391名 ◆女性…267名



二十三年度收支予算では、当期収入合計額三億三千三百五十一万円で昨年度よりもおよそ二千八百七十三万円の増加(損益ベース)となることを見込んでいます。

※これまで、センターから互助会の予算へ助成をしていましたが、公益法人への移行にともない、互助会への助成金は公益目的事業にかかる経費としては認められなくなり、平成二十三年度からは助成することができなくなりました。

東日本太平洋沖地震への義援金にご協力ありがとうございました。

会場の入口には、「義援金箱」を設置させていただき総会へ出席された皆さんにご協力をお願いしました。

また、総会の開催に先立ち、出席者全員で一分間の黙とうを行いました。

ご協力いただいた義援金は、四月一日に北日本新聞社を通じ被災された方々へ送らせていただきました。ご協力ありがとうございました。



## 就任のあいさつ



新理事長  
雨池弘之

この度の東北地方太平洋沖地震で被災された東日本の皆様と、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し哀悼の誠をさげます。

五年ぶりに積雪が一メートルを超える豪雪の雪も解け、となみ野に春の息吹を感じられ、いよいよシルバーの季節となりました。

こうした中、先の理事会において、互選により理事長に就任いたしました。身に余る重責であり、誠に微力ではございますが、シルバー人材センターの運営に誠心誠意努めてまいりたいと思っています。

さて、統合後七年目を迎え、現在の会員数は六百五十八名で、当初からみれば百名余りの減となっておりますが、今後地域における就業支援システムとして、新規会員の加入に努めています。また、契約高につきましても、経済不況の影響により年々減少し、今後厳しい事業運営が予測されると思つておりますが、ここにきて前年度を上回る見込みとなり、明るい兆しが見えております。しかし、シルバー事業運営補助金が段階的削減されるなど、取巻く環境は依然厳しい状況であります。尚、本年度は「公益社団法人」への移行や設立三十周年という節目の年でもあります。

会員の皆さんのご協力をいただきながら、シルバーの事業理念であります、「自主・自立・共働・共助」のもと、地域社会に愛され、親しまれ貢献できるセンターを目指し、職員と一致団結のもと事業の運営に努めてまいりたいと存じます。

ながら、シルバーの事業理念であります、「自主・自立・共働・共助」のもと、地域社会に愛され、親しまれ貢献できるセンターを目指し、職員と一致団結のもと事業の運営に努めてまいりたいと存じます。

ながら、シルバーを取り巻く環境は更に厳しくなると予想されますが、雨池理事長を中心に役職員、会員一丸となつて自主・自立・共働・共助の理念のもと、発展拡大を念じて退任の御挨拶といたします。ご指導ご協力ありがとうございました。

## 退任のあいさつ



前理事長  
柳原和夫

六年 前、砺波市・庄川町の合併に伴い「新生」砺波市シルバー人材センターの発足と同時にお世話をさせていた

会員皆さんのお手伝いをしながら地域社会に貢献できればと微力ながら努めきました。

この間、行政改革や経済社会の激変に振り回されながらも、元気で活動される皆さんのお手伝いができたことに少しは心安らぐ想いです。

しかしながら、業績の悪化は慚愧に堪えません。この間、財政中長期計画に基づき組織のスリム化、経費の削減、業務の効率化に努めましたが、私達の努力を上回る業績不良に見舞われました。一重に小生の不徳の致す所と申し訳なく思います。

会員のつどいや互助会研修旅行、節目の記念式典など誠に不謹慎ではあります。苦い思い出や反省も教訓が多くあります。大切なことを忘れて、これからも砺波市シルバー人材センターへ会員として就業の機会が与えられれば現場で体を動かし楽しく汗をかきたいものと念じております。

シルバーを取り巻く環境は更に厳しくなると予想されますが、雨池理事長を中心役職員、会員一丸となつて自主・自立・共働・共助の理念のもと、発展拡大を念じて退任の御挨拶といたします。ご指導ご協力ありがとうございました。

シルバーを取り巻く環境は更に厳しくなると予想されますが、雨池理事長を中心役職員、会員一丸となつて自主・自立・共働・共助の理念のもと、発展拡大を念じて退任の御挨拶といたします。ご指導ご協力ありがとうございました。

## 新理事長に雨池氏

四月一日開かれました第一回理事会で、退任される柳原和夫氏の後任に雨池弘之氏(東山見)を互選しました。

新役員は次のとおりです。



監事	上田 信雅
顧問	井上 五三男
理事長	雨池 弘之
副理事長	燕昇司・勇夫
専務理事	五嶋 親秀
理事	花木 輝雄・地守 寛
理事	岡田 彰平・渋谷 智子
理事	赤羽根博愛・加門 健一
理事	横川 紗代・北井 幸男
理事	信田馬子代・八田 四郎
監事	倉田 信正・中嶋満里子
監事	浅谷 康夫・齊藤 一夫

## 平成二十三年度 講習研修会の予定

就業会員の事故防止、知識・技能の向上、後継者の育成及び就業機会の確保を推進するため、各種講習研修会の開催を予定しています。

### ◆技能講習会

・剪定  
・雪吊

五月実施予定  
十月実施予定

### ◆安全取扱研修会

・刈払機  
・チエンソー

六月・三月実施予定  
二月実施予定

### ◆安全運転調理

一月実施予定  
二月実施予定

会員の方を対象とした就業相談会を開催します。就業機会が少ないと感じている方、就業してて何か疑問を感じている方、こんな仕事がしてみたい、希望する仕事の変更など、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。ご参加をお待ちしております。

### 開催予定日(変更の場合あり)

・六月二十八日  
・七月二十五日  
・十二月二十日  
・八月二十三日  
・十月二十五日

・二月二十八日(平成二十四年)  
時 間  
午後二時～午後四時迄

日時など詳細が決まりましたら案内いたします。是非、参加して下さい。

## 会員の“生の声”を 事業に反映

### 全二十一地区で開催

年に一度、皆さんから直接意見や要望を聞く、互助会主催の地区別会員交流会が一月二十五日から約二週間にわたり二十一地区で開催されました。

交流会の開催期間中は例年ない程の大雪となり、足場の悪い日が多いなか、多くの方が参加され、様々な意見が聞かれ有意義なものとなりました。事務局からは、事業実績・事故発生状況(シルバー保険)についての報告、適正就業・就業報告書の提出について話をしました。

特に昨年度は傷害保険・賠償責任保険の適用となる事故・ケガが多く発生し、昨年度当初に『事故全体の十五%削減』を目標に取組んでまいりましたが、前年を大きく上回る結果となつており、就業中の安全帽・安全帯・安全ベストの完全着用、各種安全講習会への参加を呼びかけました。

また、一般家庭などから依頼の多い、屋内外の清掃・樹木の剪定・除草の仕事に対応できなくなつてきている現状を伝え、知人・友人への「声かけ」をお願いしました。



#### 互助会費について

A 会員のつどいや、会員の研修旅行などの会員同士の親睦を図る会のための会費です。

これまで、センターからも助成していたのですが、公益法人に移行すると互助会への助成金は公益目的事業にかかる経費としては認められず、平成二十三年度からは助成金がなくなります。

#### 社団法人から公益社団法人に移行すると何か変わるのが

A 会員の皆さんの就業などには大きな変化はありませんが、認定を受けた際には厳格な審査が行われ、認定後も適正な運営・事務処理が求められます。

メリットとして、税制面での優遇及び「公益」名称による社会的信用がありますが、地域社会にこれまで以上に貢献し信頼の得られるよう、会員・事務局一丸となつて努力していくかなければなりません。

A シルバー人材センターの会員が、企業等の同一就業箇所で仕事をする場合には、月十日、週二十時間程度が望ましいと指導を受けております。現在、委員会等でも順守できるよう働きかけております。

#### 適正就業について

A 仕事の内容にもよりますが、元気で働く意欲があり、発注者の方からのクレームが無い限り年齢に関係なく働いていただけます。

A 今年の冬は非常に積雪が多く、除雪の依頼も多くありました。センターでは、平地(庭・宅道)の除雪は受けましたが、屋根雪降りの依頼は危険なのでお断りしています。

A 現在は、会員会費は千一百円、互助会費は六百円の合計千八百円を、平成二十三年度より、会員会費三千円・互助会費六百円の合計三千六百円になります。

#### 除雪依頼について

A 安全適正就業推進委員会でも協議され、講習会の開催・パトロール



ルの強化など今後、力を入れて取り組んでいかなければなりません。

会員の皆さんも、就業の際には自己防衛に努めていただき、行き帰りの際にも運転等十分に留意していただき事故の防止に努めただきたいと思います。  
※事務局の方でも安全帽・ヘルメット・安全帯・安全チョッキなどを販売しております。

## ハウスクリーニング 講習会



二月十六日(水)、ハウスクリーニングの講習会が砺波市シルバーウィークプラザで開催され、日頃から建物の清掃や家事援助サービスなどで活躍している会員十七名が参加しました。

講師には、砺波市内外のビルのメンテナンスをしておられる株式会社新星の方をお迎えし、約二時間にわたりしっかりと講習を受けました。

講義では、「窓ガラス」「ワックス」の掛けた床の清掃の知識、「窓ガラス」の清掃に使用する道具の正しい使い方を教わりました。

実技では、清掃作業の基本ということで施設を実際に使って「吹き上げ清掃」「道具を使用しての窓ガラス清掃」を、作業をしながら知識を学びました。



- 受講した会員からは、毎日実際に実行している作業の基本が学べてよかったです。
- 道具を手にして実技を行い、講師の方に指導してもらえてよかったです。
- 何事もやり方の順序があることが確認でき、受講できてよかったです。
- と感想が聞かれ、大変有意義なものとなりました。

## チェンソー技能 刈払機技術講習会開催

二月二十二日(火)会員の技術向上・安全就業を目的として、チェンソー講習会が砺波市シルバーウィークプラザにて開催されました。

昨年はチェンソーを用いた樹木の伐採作業中に重篤事故が発生しました。今後二度と同じことを繰り返さないためにも、就業の際に、チェンソーを使用する会員の方が三十四名参加しました。



講師は、富山県西部森林組合の森田企画課長にご教授頂き、午前中は、正しい使用方法・伐採作業の中は、正しい使用方法・伐採作業の安全ポイント・災害事例・チェンソーの知識と取扱いについて学びました。

午後からは、会員の方が持参したチェンソーを用い機械の点検整備やチェンソーの目立てを実際に体験しました。



今年度は、刈払機による飛石の事故が、物損事故の九割を占め、件数も大幅に増加となりました。

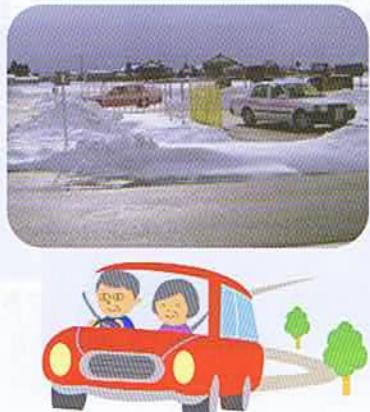
午前中は、機械の特性を理解した正しい使用方法・安全ポイント・安全衛生特別教育・災害事例について講義を受けました。

午後からは、屋外にて自らが持参した刈払機を用いて点検整備について学び大変充実した講習会となりました。

受講された皆さんには受講終了証をお渡しし、講習会で学んだことを今後の就業に生かし、安全に作業していただきことをお願いしました。



## 交通安全体験講習会を開催



一月十九日(水)、砺波自動車学校にて、交通安全体験講習会が開催されました。

昨年は残念ながら、就業先から帰り道、交差点で自転車に乗ついた方を車で跳ねてしまった。大きな交通事故が発生しました。近年、多種多様な就業にともない車の運転が必要なケースが多くあり、安全運転に対する意識の向上、各自の運転技量の再確認を図るため、二十名の会員が参加しました。

座学と実技が行われ、座学では指導員の方から雪道における安全運転と高齢ドライバーの注意点について講義をしていただきました。

「冬の交通事故を防ぐ三つの方法として、

- 一：スピードを抑える。
- 二：車間距離を大きくとる。
- 三：“急”の付く操作(急ハンドル、急ブレーキ)を出来るだけ避ける。」

ことを皆さんも、是非心がけてほ



しい」とお話をされておりました。その後の実技では、砺波自動車学校の教習指導員の方と実際に教習車に同乗しコースを周り、個別にアドバイスを受けました。

### 新しい『高齢運転者標識』が導入

従来の高齢運転者標識「もみじマーク」は、「枯れ葉のようだ」との批判を受けて見直しが検討され、新しいデザインは、シニアの「S」の文字を図案化したもので、「思いあい」、

「ゆずりあい」、「まごころある車社会へとつながるよう」、「いを込みて、四枚そろうと真実の愛を意味する四つ葉のクローバー」を題材にしたものに変更になりました。

平成二十三年二月一日から、七十歳以上の運転者は表示すること

が努力義務(罰則規定はありません)

## 広報部会より 会員の皆さんへのお願い

皆さんからの投稿をお待ちしております

(原稿はお返しできません。  
セントーに対するご意見・要望、  
提言など)

●毎日の日課、趣味やスポーツ、  
私の健康法、就業体験など  
●表紙写真 風物、風景など季節  
感があるもの

(今月号の表紙は会員の加藤福蔵さん(出町地区)の作品です。)

## 砺波市シルバー人材センター 『安全就業スローガン』

推薦作品決定

会員の皆さんから多数応募していただいた「安全就業スローガン」の中から、安全・適正就業推進委員会にて選考し、富山県シルバー人材センター連合会へ推薦する作品が決定いたしました。

紹介させていただきます。

### 「今日もまた 日配り気配り 緊張感」

中嶋 满里子さん(種田地区)

鳴村 昭子さん(東野尻地区)  
明日への意欲



皆さま、本年度も新しい事務局をどうぞよろしくお願い致します。

新任 事務局長 五嶋 親秀  
退職 事務局長 新川 張和  
コーディネーター 坪本 幸世  
(三月三十一日付)

### ●職員異動のお知らせ●

シルバーの受託作業で特に外事は、気象に左右されるなど大変ではないでしょうか。剪定や防除、草刈や草むしりなど、雨の日、猛暑、寒い日など作業に従事する方しかわからない、想像を絶する試練だと思います。

陰日向無く一心に取組んでおられる作業態度や、その底力、エネルギーには今の若い者(戦後生まれの私達)は真似が出来ない位、「素晴らしい」の一言です。本当に頭が下がる思いであります。

この作業を支えている殆どの方は七十歳を過ぎていらっしゃる高齢者の方々であります。今後、戦後の会員がシルバー人材センターを支えていく頃には、はたして何人の方が先輩会員各位の「根性」を継承していくか、行き先を危惧する今日この頃です。

(新川)

### ●配分金支払い日案内●

- ◆五月十六日(月) ◆六月十五日(水)
- ◆七月十五日(金) ◆八月十五日(月)
- ◆九月十五日(木) ◆十月十七日(月)